



## 「相談できる薬屋」に原点回帰 地域一番のヘルスケアステーション®へ

株式会社新生堂薬局 代表取締役社長 兼 CEO 水田 怜氏

### 現代の社会課題に 理念経営で挑戦する

1959年、長崎県南島原市に開店した薬局「水田新生堂」にルーツを持ち、1978年に福岡市で創業されたのが、福岡市南区中尾に本社を置く(株)新生堂薬局です。調剤薬局を軸に、現在は福岡・長崎・熊本の北中部九州を中心に鹿児島県や東京都など全国に約150店舗を展開しています。

代表取締役兼CEOの水田怜さんは、店舗を「地域一番のヘルスケアステーション®にする」(ビジョン)ことで「健康なくらしのお手伝い」(ミッション)を行い、「健康寿命の延伸と社会保障費の抑制に貢献する」(パーパス)という企業理念を明確に設定し、さま

ざまな取組みを進めています。

「2009年に施行された改正薬事法によって、薬剤師以外でも一般用医薬品が販売できる“登録販売者”という資格が新設されました。これにより薬剤師不在のドラッグストアが増え、薬に関する相談が難しくなっていました。そんな中でも新生堂薬局は、生活品や食料品が便利に買えるだけでなく、昔のように気軽に健康相談ができる薬局にしていきたい。市販薬で大丈夫なのか、病院に行ったほうが良いのかなど、お客様には処方箋がないからと気後れせずに相談してほしい」と意気込みます。

そこでまず開発したのが「健康台帳®」というシステムです。タブレット端末を使って年齢や性別、服用している薬、

症状などを入力すると、一人ひとりに適切な市販薬が提案されます。さらに、家族構成やアレルギーの有無といったパーソナルデータも入力することで、病院のカルテのように利用しているのだといいます。新生堂薬局は、この仕組みを“プレホスピタルカウンセリング®”と名付け、医薬品の販売だけではなく病院の受診勧奨、運動や食事のアドバイスなどにもつなげています。「DXを駆使して、まるで薬剤師が店頭にいるかのような相談体制を構築することができました。正しい情報をもとに適切な薬をお勧めできることで、私たちが目指すヘルスケアステーション®に近づけるのではないかと期待しています。この健康台帳®システムは自社の店舗で活用するだけな

### 【プロフィール】

福岡県出身。大学卒業後、大手ドラッグストアを経て、父が創業した新生堂薬局へ。2019年より現職。地域未来牽引企業認定、DX認定、6年連続健康経営優良法人を取得。第56回グッドカンパニー大賞優秀企業賞受賞。



1



2



3



4

1 タブレットを使って適切な市販薬などが提案できる「健康台帳」。アレルギー情報や購入商品等のデータを蓄積することで、店舗スタッフの適切なカウンセリングが可能に

3 「新生堂ヘルスケアステーション薬院」に併設された「シンプラスキッチン×タニタカフェ」のコラボメニューでは、野菜をふんだんに使ったワンプレートを提供

2 西鉄薬院駅ビルにできた「新生堂ヘルスケアステーション薬院」では、女性管理栄養士・薬剤師が常駐し、健康をサポートしている

4 福岡県の減塩プロジェクト「TRY!スマソる?」に賛同。店内に設置された特設コーナーには血圧計や、高血圧の予防や改善に役立つ商品が並ぶ

く、競合の薬局にも販売し、社会的な『相談できる薬屋』づくりにも取り組んでいます」。

### 女性特有の悩みに応える コンセプトストアをオープン

店舗のヘルスケアステーション®化を進める新生堂薬局は、2024年9月に福岡市中央区渡辺通の西鉄薬院駅ビルに「新生堂ヘルスケアステーション薬院」をオープンしました。女性の悩みに寄り添ったスキンケア用品、健康食品、医薬品、雑貨を取り揃えているほか、肌タイプや体組成など体の状態を調べる測定機器も設置。その結果、来店者の90%以上を女性が占め、多くの支持を得ています。「これまで女性特有の悩みに専門的に対応できるドラッグストアはありませんでした。この店舗は女性が安心して相談できる場所にするため、働くのは女性の薬剤師と管理栄養士に限定。福岡で頑張っている女性をここから応援していきたいですね」と水田さんは語ります。

もうひとつの特徴が、健康総合企業、タニタの「タニタカフェ」とコラボ

したレストランの併設です。「健康のために大切なのは、一に運動、二に栄養と言われています。コラボカフェができたことで、食事のアドバイスだけでなく実際に提供することができるようになりました。1日に必要な野菜量の1/2が摂取できるワンプレートランチをはじめ、オリジナルのイタリアンなどカラダが喜ぶメニューが人気を集めています」。

### 行政などとも協力し 健康づくりを推進

現在、飯塚市、那珂川市、篠栗町、嘉麻市、中間市、春日市の6つの自治体と包括的連携協定を締結し、各地店舗で健診啓発や地域活性化に積極的に取り組む新生堂薬局。20歳以上の福岡県民の約2人に1人が高血圧という現状を踏まえ、福岡県が行う減塩プロジェクト「TRY!スマソる?」に賛同し、減塩メニューの提供や管理栄養士による相談イベントを実施しています。また、40-50代から増加する「心臓突然死」を遠ざけるべく、共同PRプロジェクト「PROTECT

HEARTS PROJECT」を業界の垣根を超えた6社で立ち上げました。スマホ1台で血圧管理から医師の診察、薬の処方まで完結できるオンライン診療サービス「イーメディカル」を活用し、生活習慣病(高血圧症)の治療開始・継続を推進しています。

「将来的には東南アジアを中心とした発展途上国にも、健康台帳®やヘルスケアステーション®などを展開していく可能性があります。まだまだ道半ばですが、グローバルなヘルスケア事業の発展に貢献していきたいですね」と水田さんの挑戦は続きます。

取材日：3月4日



### 株式会社新生堂薬局

〒811-1364 福岡市南区中尾3丁目12番17号  
TEL:092-541-0088  
https://sinseido-co.jp/  
※写真は新生堂薬局中尾店